日本旅行と日旅連 新たな理念のもと、共に発展へ

3面から続く

――宿泊業界は人手不足が深刻だ。その中で日本旅行は外国人材を宿泊施設など観光業界に紹介する事業を始めた。

吉田　「特定技能」の在留資格を持つ外国人を施設に紹介できる資格を昨年、取得した。中央アジアと東南アジアの4カ国と人材交流に関する連携協定を締結。海外の大学とも協定を締結し、日本の企業に海外の人材を紹介するためのベースを整えた。日本の文化とルールをしっかり守り、働いてもらえるような人材を育てる取り組みを鋭意進めているところだ。人材紹介の実績は既に旅館とJRグループの企業を含めて100人に迫る規模となっている。

白石　非常に意義のある取り組みだ。外国人材については、さまざまな企業や団体が手掛けているが、どこを信用してよいか分からないところがある。日本旅行の取り組みだけに、しっかりとしたクオリティを担保しているはずで、施設側にとっても安心してお願いできる。

宿泊増売、地域の課題解決へ―固い握手を交わす両氏

集中送客キャンペーン実施へ 会員、地域との関係を強固に

■　■

――国内旅行を中心に、今年の業界展望を。

吉田　イレギュラーなことが起きるかもしれないが、昨年同様、おおむね順調に推移するだろう。個々の出来事にはしっかりと対処しながら、取り組みの基本を崩さずに、販売につなげていきたい。

白石　国内に関しての見方は社長と同様だ。インバウンドについては、さまざまなことが起きているが、こちらも基調は昨年と変わらないだろう。先ほども触れたが、むしろ一部で急激に増えたことによる問題にどう対処するか。減らすという話ではなく、お客さんがたくさん来てもしっかりと対処して、地域社会に悪影響を及ぼさないようにうまくコントロールすることだ。

出国の際の国際観光旅客税が7月から現行の千円から3千円に上がる。年間1500億円ほどの税収になると聞いた。沖縄県でも来年度から宿泊税も導入される。これらの財源をうまく使ってほしい。

――会社は昨年末に新しい中期経営計画を発表した。

吉田　2026年度から2030年度までの5カ年計画で、タイトルは「新章」。これまでの120年の歴史をしっかり踏まえつつ、新たなステージに進んでいこうという意思を込めている。今まで行ってきたことを否定するのではなく、しっかりと受け止めることが大前提。その上で時代に即した新たな取り組みを進める。

今まで多くの人手を割いていた業務を、AIを含めたDXの力で効率化するとともに、「人」にしかできないことについては徹底的に追求して取り組む。これは日旅連の会員の皆さまとの関係、地域との関係をより強固にするための取り組みでも含まれる。

新たな事業の核をつくることにも注力する。昨年、柱の一つは、成長分野に事業をシフトすること。例えばインバウンド。1月1日の組織改正で、今までさまざまな部署に分散していたインバウンドに関する機能を「インバウンド・グローバル事業本部」という組織を新設して一つにまとめた。

DX（デジタルトランスフォーメーション）による生産性向上も柱の一つだ。記者発表した宇宙旅行に関する事業もその一つだ。壮大な取り組みに見えるが、宇宙に関する子供たちへの教育や体験プログラムの実施など、国内旅行との接点もあり、日旅連の皆さまとも決して無関係ではない。

――中計には売り上げや利益目標など、具体的な数字は示されていない。

吉田　この5年間は、次のステージに向けた土台作りがメインで、派手な目標は立てていない。新たな次の時代に向けて、着実に歩を進める。

白石　最大の目標で、会員が求めているのは宿泊券の増売。その目標に向けて、新たな中計と歩調を合わせて取り組む。

吉田　今年度は日旅連の会員施設に集中送客するキャンペーンを行う予定だ。鋭意、プランを練っているところで、近々発表できる。

白石　「待ってました！」という感じ。大いに期待するところで、成功に向けてわれわれも頑張らせていただきたい。

吉田　個人旅行、団体旅行を問わず、会員の皆さまにしっかりと送客ができる仕組みをつくりたい。

■　■

――日旅連の今年度総会が3月4日に東京都内で開かれる。吉田社長から日旅連会員、白石会長から日本旅行の役員、社員への要望、メッセージを。

吉田　災害や海外での戦火、コロナ禍と、今までさまざまな苦難があり、われわれも道を踏み外しそうになることがあったが（笑い）、何とか持ちこたえてここまで来られたのは日旅連の皆さまのおかげだ。

創業から120年間の長きにわたり、日旅連の皆さまにはさまざまな場面でお助けいただきここまで育てていただいた。これからの100年も変わらずにご愛顧をいただければと思う。

白石　会社の新中計を軸に、北海道から沖縄まで、オール日旅連で今年度は事業を進める。

吉田社長の素晴らしいリーダーシップのもと、どうすればビクトリーにたどり着けるのか、日本旅行とウィンウィンになれるのか、会社の皆さまにお示しをいただければと思う。新しい年度のスタートを前に、強く感じているところだ。

2026年度の事業計画

北海道支部連合会

販売強化へ 新たな展開

南智子会長

日本旅行グループ並びに連盟会員の皆さまには、当支部の事業運営にあたり日頃より多大なるご協力を賜り心から感謝申し上げます。

2025年の北海道は、上半期を中心に引き続き訪日旅行客数を順調に維持し、国内の団体・個人も含め多くのお客さまにご来道いただきました。一方、下半期については、夏場の最需要期が猛暑の影響なども想定ほど振るわず、その後も中国の渡航制限も重なり、苦戦した1年でもありました。

そのような状況を打破すべく、当支部では、観光・船車契約事業者の皆さまとは、日本旅行グループと連携し新規団体インセンティブを実施。新規団体の取り込みを図ったほか、日本旅行120周年と連動した周年記念プランやバイキング宴会プランなど新たな団体素材の開発にも取り組みました。

教育旅行においては、「教育旅行コンテンツ集」を作成し、日本旅行オリジナル素材や北海道内の特色ある探究型コンテンツを掲載し、支店への周知を図りました。あわせて、洞爺地区の会員施設と連携し、洞爺での探究型素材の掘り起こしも行うなど、地域連携にも積極的に取り組みました。

インバウンドにつきましては、2024年に引き続きインドネシアにおいて現地旅行会社との商談会ならびにセールスコールを実施致しました。現地との関係性も一段と強化され、昨年はインセンティブ施策を実施したこともあり、道央圏のみならず道東・知床方面への依頼も増加していると伺っております。

2026年は春以降に向けてさらに販売強化を図るため、新たな展開を進めてまいりたいと考えておりまして。

特に、日本旅行グループにおいても重点施策と伺っておりますインバウンド誘客ならびにコンテンツ開発につきましては、当支部としても一層力を入れて取り組む所存です。

コンテンツ面では、教育旅行の素材開発に加え、個人商品においても魅力ある付加価値コンテンツを営業推進委員を中心に掘り下げていきたいと考えております。

インバウンドにつきましても、引き続き日本旅行グループ訪日部門と連携し、アジア圏を中心とした海外セールスを実施してまいります。

また、3月にカンタス航空によるシドニー直行便の復活、11月にはカナダとの直行便が就航予定など、アジア以外からの訪日客増を期待させる新しい話題がございます。

これらの動きを好機と捉え、海外FITも含め新たな取り組みを積極的に推進してまいります。

日本旅行グループと連動して取り組みを通じ、北海道一円での実績につながる施策を一層強化してまいりますので、引き続き皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆さまならびに日本旅行グループにとりまして本年が幸多き1年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

関東支部連合会

販売拡大直結の事業を

山本剛史会長

平素は関東支部連合会の事業活動に対して、日本旅行グループ並びに会員の皆さまより多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、観光業界にとってさまざまな動きがありました。半年の会期中に約2558万人の一般来場者を記録した大阪・関西万博の開催や円安を背景として訪日外国人旅行者数は初めて4千万人を突破、消費額も約9・5兆円と過去最高を記録、日本人国内旅行消費額も物価高騰に伴う旅行単価の上昇等により昨年を上回りました。

一方で毎年記録更新される猛暑、根拠のない予言拡散、クマの出没増加、中国政府による「日本への渡航自粛」等、消費を減速させる要因もあり、自然・風評・国際情勢の変化に振り回されました。

このような状況下で迎えた今年度は、引き続き日旅連の組織目的である宿泊販売の拡大に直結した事業を連合会・支部営業推進委員会を中心にスピード感を持って進めてまいります。

具体的には3広域営業部とインバウンド・グローバル事業本部のご協力による商談会開催・年間を通して会員に特化したキャンペーン展開、企画仕入センターのご協力による専用Web商品・地区商品展開、Red Balloonへの積極的な参画により、GT・FIT・インバウンドそれぞれのチャネルから宿泊券の増売につなげてまいります。

私ども関東支部連合会は、日本旅行の事業計画と連動、関東・伊豆箱根企画仕入センターと連携し、会員施設の宿泊販売拡大につながる活動を成果にこだわって取り組んでまいります。

本年も引き続き、関係各位のご支援・ご協力を賜りながら、活力に満ちた連合会を目指してまいります。何卒、よろしくお願い申し上げます。

皆様の日頃のお心遣いに感謝申し上げます。
日本旅行では、これからもお客様に喜んでいただける
国内旅行をご提案してまいります。

日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

JRや新幹線を利用した旅行プランをお客さまのニーズにあわせて多数ご用意しております。

赤い風船　EX旅パック

tobiwo トラベル

環境にやさしく、地域はうれしく、自分たちはとことん楽しい。
そんな新しい旅を、一緒にはじめてみませんか?
新幹線+宿泊+EVレンタカーの旅GREEN JOURNEY

うれしい景色が増える旅
GREEN JOURNEY